

令和元年度健康づくり指導者セミナー（行政コース）

研修会実施報告

【参加状況】

●日時 7月11日（木） 10:00～16:00

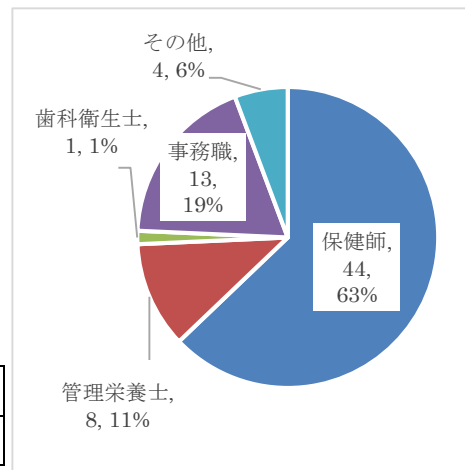
●参加人数 70人（男：14人 女：56人）

●所属別（人）

県	保健所	市町村
3	8（6か所）	59（40か所）

●職種別（人）

保健師	管理栄養士	歯科衛生士	事務職	その他
44	8	1	13	4



【カリキュラム】

テーマ

様々な政策や制度を上手に活用して、わがまちの健康づくり・介護予防を円滑に進めよう！

時間	内 容
10:00	オリエンテーション
10:10 (100分)	講義「わがまちの健康づくり・介護予防を進めるうえで取り組むべき保健事業について」～一体的実施に向けて～ あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下 一代
11:50	昼食
12:50 (15分)	情報提供「高齢者の保健事業の推進に向けて」 愛知県後期高齢者医療広域連合 課長 長谷川 誠
13:05 (45分)	事例紹介「高齢者の特性を踏まえた保健事業について」 事例①) 栄養パトロールの取り組み 三重県津市 参与兼課長 栗本真弓 事例②) 健康づくり・介護予防ボランティアの取り組み あいち健康の森健康科学総合センター指導者養成課・愛知県健康づくりアドバンスリーダー 今泉 勝代
13:50	10分休憩
14:00 (40分)	事例紹介①「住民の運動習慣定着と地域の絆づくりの取り組み」(地域づくりの取り組み) 知多市 保健師 敦賀不二佳 事例紹介②「健康日本21(第二次)の中間評価の取り組み」(地域・事業所との意見交換会の取り組み) 安城市 保健師 馬谷紀江
14:40	10分休憩
14:50 (70分)	グループワーク「講義を聞いて気づいたこと、学んだこと、参考になったこと」、「すぐに取り掛かること」 発表、まとめ・質疑応答
16:00	まとめ、アンケート記入

【研修会の様子】

本年度は「様々な政策や制度を上手に活用して、わがまちの健康づくり・介護予防を円滑に進めよう！」をテーマに1回目を行いました。

津下センター長の講義では、自治体における保健事業の進め方を中心に、人口動態や医療費、介護費、特定健診・保健指導、透析実施状況等の既存データによる県内の6年間（平成22年と28年度）の変化を確認しながら、県、わがまち、他市町村の状況から現在の立ち位置を知り、目指すべき方向を意識してもらいながら、講義が進みました。また、新しい事業として、高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施や、健康増進法の改正に伴う受動喫煙対策についての情報提供があり、健康日本21（第2次）計画、地域・職域連携推進事業、特定健診・特定保健指導、糖尿病性腎症重症化予防事業、高齢者の保健事業等の様々な制度や事業がある中、1つの部署で進めていくのではなく、庁内の各部署や外部の関係機関等が連携して実施する必要性を学びました。

県後期高齢者医療広域連合の長谷川課長より、県内の後期高齢者医療の現状や、来年度から始まる高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施について情報提供いただき、各部署で連携する必要性を確認しました。引き続き、一体的実施に向けた事例紹介とし、津市の栗本参与兼課長より、低栄養・フレイル対策における栄養パトロールの取り組みについて、体制作りと実際の事業内容を紹介いただきました。また、尾関課長、健康づくりアドバンスリーダーの今泉さんから、健康づくりボランティアの取り組みについて、健康づくりリーダー養成や活動支援状況及び、新城支部の多市町村に渡る活動を紹介しました。

健康日本21（第2次）計画に関する事例紹介として、知多市の敦賀保健師より、「健康寿命を延ばそうアワード」を受賞したラジオ体操による運動習慣定着と地域づくりの取り組みについて、登録制度や普及啓発の状況と事業効果について紹介いただきました。引き続き、安城市の馬谷保健師より、中間評価での取り組みとして、健診データから地域分析マップを作成・活用した地域・事業所との意見交換会や、働き世代が集まる場所に出向いた普及啓発について紹介いただきました。

●講義「わがまちの健康づくり・介護予防を進めるうえで取り組むべき保健事業について」 ～一体的実施に向けて～



●情報提供 「高齢者の保健事業の推進に向けて」



●事例紹介「高齢者の特性を踏まえた保健事業について」栄養パトロールの取り組み



●事例紹介「高齢者の特性を踏まえた保健事業について」健康づくり・介護予防ボランティアの取り組み



●事例紹介「住民の運動習慣定着と地域の絆づくりの取り組み」地域づくりの取り組み



●事例紹介「健康日本 21（第二次）の中間評価の取り組み」地域・事業所との意見交換会の取り組み



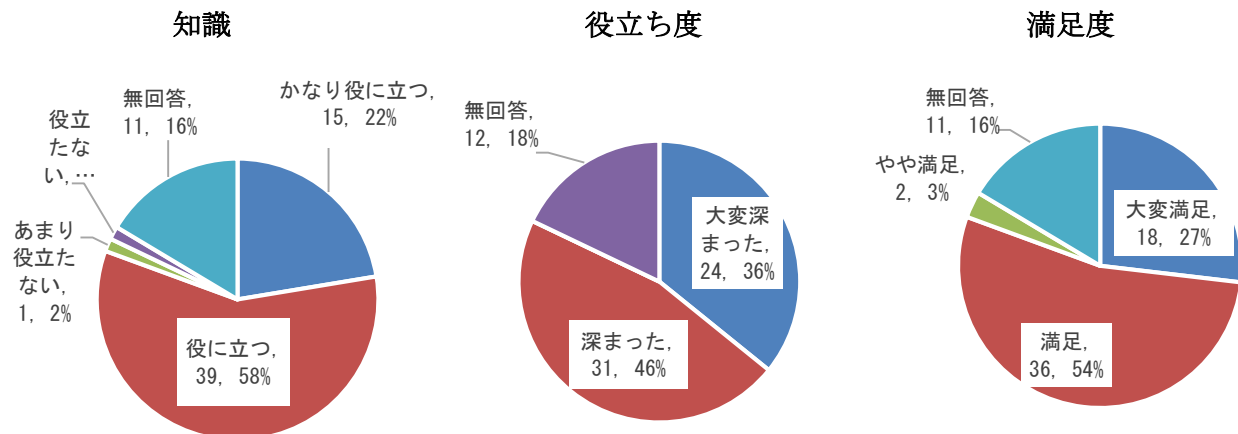
●グループワーク

講義を聞いて、「気づいたこと・学んだこと・参考になったこと」、「わがまちのデータから、保健事業を振り返って、課題や改善が必要と感じたこと」、「職場に戻ったらできること、やりたいこと」について個人ワークシートを整理し、その内容をグループで情報共有・意見交換を行いました。わがまち・他市町村の取り組みについて、保健師・管理栄養士・歯科衛生士・事務職等の様々な立場から、データ活用や連携の必要性等を意見交換し、「わがまち」が取り組むポイントや課題を明らかにしていました。



【アンケート結果】 67 名から回収（回収率 95.7%）

1. 全体



2. 感想

《全体》

- ・健康政策を進めるにあたり、国の方向性や今後実施すべき課題や対策について知ることができた。
- ・津下先生の話はとても参考になり、勉強になりました。所属課や連携している課へ情報提供したい。
- ・地域・職域から介護予防の健康づくり施策まで、一連の流れで理解でき大変有意義だった。
- ・健康づくりについて、多くの部局でそれぞれ取り組んでいるものを総合的なとらえ、市全体で共通認識したうえで、各部局で活動することが大切だと感じました。
- ・連携の必要性を感じた。横の連携が重要だと思った。担当課と定期的に情報交換をしていきたい。

《データ活用》

- ・データからみた自分の市について学ぶことができた。地域のデータをもっと活用していきたい。
- ・後期高齢者医療費が高いことがデータでとても実感できた。データを読みとく必要性をとっても感じた。
- ・事業評価は実績のみでなく、財政や医療費といった広い視点でとらえる必要性を感じた。
- ・データ分析、課題に基づいた事業の展開や、既存事業の棚おろしをしていきたい。

《一体実施》

- ・高齢者の一体化事業推進の必要性を強く感じた。KDB のデータの活用も改めて必要と感じた。
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に向けて、当市では何も検討が進んでいなくて、保健部門では危機感があるのに対し、高齢者部門のほうが他人事といった感じなので積極的に働きかけてほしい。

《事例・グループワーク》

- ・津市の事例（栄養パトロール）はとても興味深かった。
- ・地域の人材育成をし、まちづくりを推進していきたい。
- ・各事例の紹介を通じて同じような悩みをもちながらも頑張っている姿によりヒントをいただけた。
- ・グループワークでは、他市町の状況、色々な悩みを共有できて良かった。

次回は、11月14日（木）を予定しております。皆さまのご参加をお待ちしております！